

第8回 奈良名作映画祭

11月26日(土)

11月27日(日)

奈良県文化会館国際ホール

第1日 10時30分開場 企画/奈良シネマクラブ

第2日 10時30分開場

11:00 映画「夜の河」

(1956・吉村公三郎監督・大映(京都)・カラー)104分(文化庁優秀映画鑑賞推進事業)



「夜の河」(1956・大映・優秀映画鑑賞推進事業)

出演 山本富士子/上原謙/川崎敬三ほか
吉村公三郎監督は戦前から主体的で知的なヒロインを描いているが、山本富士子演じる舟木きわもその延長線上に位置する。カメラマンの宮川一夫は、当時の京都の景色を美しくとらえ、山本の魅力を引き出すために色彩をグレーに絞った。山本富士子は本作を契機にトップスターの道を歩み始めた。「キネマ旬報」ベストテン第2位。

13:30 講演 映画「レオニー」 松井久子 監督

14:30 映画「レオニー」

(2010・松井久子監督・日・米・カラー)132分



「レオニー」©レオニーパートナーズ合同会社

出演 エミリー・モーティマー/中村獅童ほか
天才彫刻家イサム・ノグチを生み育てたアメリカ人女性レオニー・ギルモアの波乱の半生に感銘を受けた『ユキエ』『折り梅』の松井久子監督が、企画から7年もの歳月をかけて完成させたのがこの映画である。1901年、レオニー(エミリー・モーティマー)は、日本から来た詩人のヨネ・ノグチ(中村獅童)と出会い恋に落ちる。そしてレオニーは子供を身籠るが、ヨネは彼女を置き去りにして帰国してしまう。日本行きを決意するレオニーの運命は…。

17:10 映画「しあわせの雨傘」

(2010・フランソワ・オゾン監督・仏・カラー)103分



「しあわせの雨傘」©Mandarin Cinema 2010

出演 カトリーヌ・ドヌーヴ/ジェラルド・ドバルデュールほか
70年代フランスの地方都市。優雅なブルジョワ主婦スザンヌ。ところが、夫ロベールが心臓発作で倒れてしまう。急遽、経営する雨傘工場を任されたスザンヌは…。カラフルな雨傘は、何かあの「シェルブールの雨傘」を想い出させる設定。遊び心とユーモアに満ちたフランスコメディ。(18:53終演予定)

11:00 映画「雪国」

(1957・豊田四郎監督・東宝・白黒)133分(文化庁優秀映画鑑賞推進事業)



「雪国」(1957・東宝・優秀映画鑑賞推進事業)

出演 池部良/岸恵子/八千草薫ほか
川端康成の不朽の名作小説を映画化したもので、徐々に惹かれ合ってゆく島村(池部)と駒子(岸)の心理が、文芸映画を得意とした豊田監督の細やかな演出で表現される。また、雪国の空気に生活感がにじみ出る映画美術も、本作を格調高いものにしてている。フランス人映画監督と婚約した岸恵子は、封切と時を同じくしてフランスへ旅立った。

13:20 奈良フィルメンバーによる ロビーコンサート

出演 ヴァイオリン/袴田さやか オーボエ/全良雄 電子ピアノ/山田陽子
曲目「ニューシネマ・パラダイス」「モア」「雨にぬれても」ほか

14:00 映画「最後の忠臣蔵」

(2010・杉田成道監督・カラー)133分



「最後の忠臣蔵」©2010「最後の忠臣蔵」製作委員会

出演 役所広司/佐藤浩市/桜庭ななみほか
「忠臣蔵」の討入り、死ぬことを許されなかった二人の男がいた。寺坂吉右衛門(佐藤)と瀬尾孫左衛門(役所)。16年の歳月を経て、大石内蔵助(片岡仁左衛門)から二人に与えられた使命が完結する。忠義の先にある本当の結末とは…。

16:40 映画「ディア・ドクター」

(2008・西川美和監督・カラー)127分



「ディア・ドクター」©2009「Dear Doctor」製作委員会

出演 笑福亭鶴瓶/瑛太/香川照之/井川遥ほか
研修医・相馬(瑛太)は、山間の小さな村に赴任した。村中から慕われる伊野(鶴瓶)ににに共感していく。しかし、伊野には誰にも言えない秘密があった…映画『ゆれる』で数々の映画賞を受賞した西川監督自身の脚本は、最後まで観客の心を引きつけ離さない。「キネマ旬報」ベストテン第1位。(18:47終演予定)

会場 奈良県文化会館 国際ホール

〒630-8213 奈良市登大路町6-2(近鉄奈良駅下車 奈良交通バス「県庁前」下車)

入場料(自由席) 1日券(入替なし・1日通用) 前売1,000円(当日300円増)
2日券 1,700円

問合せ 奈良県文化情報センター ☎0742-22-0200
(奈良県文化会館内・月曜休・受付9:00~17:00)

※都合により予告なく内容の一部を変更することがございます。あらかじめご了承ください。

